

岩手県 軽米町議会

議会だより

かるまい

No. 228

令和4年1月26日発行



花のまち軽米こども園



小軽米保育園



笹渡保育園



晴山保育園



晴山保育園

主な内容

特集 〔軽米高校2年生に聞く〕

“未来を担う”若者の声

2

12月定例会 12月定例会の概要 4

12月定例会 一般質問に6人登壇 7

インタビュー「#町にこれを求む」 14

今回の表紙は クリスマス会

12月に花のまち軽米こども園ほか町内3保育施設でクリスマス会が行われました。

鈴を鳴らしやって来たサンタさんに子どもたちは大盛り上がり。サンタさんと歌ったり踊ったり、子どもたちの元気な姿と笑い声で素敵なクリスマス会となりました。



たまだて ななか
玉館 七花さん

ニュースと時代の流れに注目

どのように議会が行われているのか知ることができ、勉強になりました。具体的なアイデアとともに、町政について考えられるよう、ニュースや時代の流れに注目していきたいと思いました。

町政や町議会に興味、関心はありますか？

- 1. ある・・・・・・・・・・ **7人**
- 2. 少しある・・・・・・・・ **26人**
- 3. あまりない・・・・・・・・ **6人**
- 4. ない・・・・・・・・・・ **3人**



さかわき りゅうせい
坂脇 流星さん

まじめに考えて投票に

初めて議会の傍聴して、これからの軽米に必要なことを話し合っているのだと知ることができました。自分が選挙で投票した人が町議会で話し合いをするのだとしたら、しっかりとまじめに考えて投票しなければいけないと思いました。



むかいやしき もえ
向屋敷 萌さん

自分の一票を大切に

子どもからお年寄りの方まで住みやすく、町の課題解決をする活動が数多くなされていると知れました。18歳になったら、選挙で誰を選ぶか自分の一票を大切にしていきたいと思いました。

ギカいの視点

意見を聞き入れる議会に

投票率の低下には、「投票をしても変わらない」と思われていることが1つの理由として挙げられます。

町だけでなく議会でも、若年層を取り残すことなく、幅広い年代の意見を聞く機会を設けることが必要不可欠です。



ふくだ しゅうま
福田 柊真さん

町の多様化

物事をいろいろな方向から考えることで、町の多様化につながるのだと学びました。

高校生 42 人に聞いた

"未来を担う"若者の声

議会の傍聴して感じたこととは

12月定例会（第25回定例会）は、12月1日から9日までの9日間の会期で開かれ、補正予算3件ほか、提案された議案7件すべてを可決しました。

一般質問1日目には、軽米高校2学年の42人が傍聴しました。議会報編集常任委員会では、傍聴に来ていただいた42名の生徒を対象にアンケートを実施。議会・町政への関心、町の将来像など、未来を担う若者の声の特集します。

議会の傍聴は初めてですか？

はい：1人

41人が初めての傍聴



あさみず ゆうや
浅水 祐弥さん

若者としての意見を考えたい

町議会だからもっとピリピリしていると思っていましたが、意外にも明るくて驚きました。また、これからの町の発展には若者の意見も必要と話題に出ていたので、自分も意見を考えていきたいです。



さ さ き なづき
佐々木 菜月さん

町議会議員の重み

テレビでしか見たことがなかったけど、いざ生で見ると緊張感が張り詰めていて、町議会議員の重みを感じることができました。



こばやし そうた
小林 颯太さん

有権者になる意識

町の将来について具体的に考えていく必要があると思いました。町の発展のためなども考え、有権者になるうえで、町の将来へ関わっていくということを改めて意識していきたいです。

質問・答弁の内容はいかがでしたか？

- 1. 理解できた・・・・・・・・ **18人**
- 2. 少し理解できた・・・・ **15人**
- 3. 少し理解できなかった・・・ **8人**
- 4. 理解できなかった・・・・ **1人**



せきむかい れいな
関 向 怜奈さん

知らないことを知る機会

普段知ることのない町長や議員の考えを知ることができ、良い機会になりました。もう少しで選挙権を持つので、町民の一人として町のことを考えたいと思いました。

高校生が町に望むことは何か。

#町にこれを求む！ は14ページに掲載！

12 月定例会
ここが



補正予算

一般会計予算を **5 億 9113 万円** 減額



農業は町の基幹産業であるため、今後も米生産者だけではなくあらゆる分野の農家への支援が必要となります。

米価の下落で多大な影響

主食用米生産者へ緊急支援

米生産意欲の喚起

主食用米生産緊急対策
支援事業補助金 **880 万円**

令和 3 年度の主食用米の概算金の大幅な下落が発表されたことに伴い、農家の経営安定につなげるため、町内で主食用米を 50 アール以上作付し、作付面積から自家消費分 10 アールを減じた作付面積に、10 アールあたり 5 千円を助成。

問 50 アール以上という設定を設けず、主食用米を販売した農家の救済、助成の考えはないか。

答 10 アールは自家消費分という考えがあり、50 アール以上（中核的農家）で線引きをした。そのほかの方々への助成に関しては、再考し配布する方向で進めたい。

補助額は減額するも、対象者は拡大に

50 アール以上作付した農家に対し、10 アールを減じた作付面積に 10 アールあたり 5 千円の助成としていましたが、当局で再考し、**20 アール以上作付した農家に対し、10 アールを減じた作付面積に 10 アールあたり 3,500 円を助成することとなりました。**

小規模農家も支援すべき

中山間地帯なりの支援策を

販売した農家への救済として考えるべき



議会での議論が
再考のきっかけに

3 回目のコロナワクチン接種

問 3 回目のワクチン接種の現時点でのスケジュールは。

答 町外に勤務している医療従事者の方へ 11 月 19 日に先行接種の接種券を発送し、12 月から接種を開始。軽米病院での集団接種について軽米病院と調整しており、**町内の医療従事者は 1 月に接種を開始する予定。**その後は高齢者施設の入所者と職員、次に高齢者の接種という順番で進める予定。**高齢者の接種は 3 月を計画している。**

ワクチン接種証明

ワクチン接種証明は、新型コロナウイルスワクチンの接種を公的に証明するもの。**アプリでも接種証明を取得できます。**

問 役場に申請すれば**コロナワクチンの接種証明を発行してもらえるのか。**

答 接種証明はふれあいセンターで申請を受け発行している。



▲デジタル庁HP
ワクチン接種証明アプリをダウンロード
できます。

※接種証明の取得にはマイナンバーカードが必要です

子育て世帯臨時特別給付金

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、高校生までの子どもがいる世帯に対し 5 万円を給付するための予算を可決。

子育て世帯
臨時特別給付金 **5000 万円**

今年度の工事費を減額

建設工事の遅延により来年度以降の予算から支出することとなったため、今年度支出を予定していた工事費の減額をするもの。

かるまい交流駅（仮称）
建設工事 **△ 7 億 651 万円**



令和 5 年 7 月の完成に向け工事は進められています

12 月 27 日 第 26 回 臨時会

住民税非課税世帯等
給付金 **1 億 5000 万円**

国の緊急経済対策により、住民税非課税世帯や家計急変世帯に対し 10 万円を給付。

子育て世帯
臨時特別給付金 **4800 万円**

国の基準は令和 4 年 3 月 31 日までに出生した高校生までの子どもがいる、年収 960 万円未満の世帯が対象であるが、町では所得制限等を撤廃し、令和 4 年 4 月 1 日までに出生したすべての方を対象とすること、全額（10 万円）を現金給付にすることを決定しました。

医療廃棄物撤去処分
に伴う工事遅延補償金 **1349 万円**

鉛成分の出土、撤去処分による工事の遅延により、建設業者へ補償金を支払うもの。本会議では、金額のすべてが税金によって賄われる、その責任は重い、という反対討論がなされましたが、提案された議案 1 件、一般会計補正予算（第 7 号）を賛成多数で可決しました。

第25回定例会 6人が登壇 一般質問

一般質問とは
・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
・質問者の順番は通告した順番で行われます
・同一項目についての再質問は2回までできます
・時間の制限はありません



・医療廃棄物処理費用負担に係る
岩手県との協議
・山本町政5期、20年の総括と
令和4年度の予算編成方針

・SDGsの取り組み
・軽米で育てる未来の農業



・役場周辺の巨木林の
維持管理と環境整備
・福祉灯油制度の創設
・主食用米生産者への支援

・町民バス運行



・農業施策

・商店街の活性化
・交流駅の取り組みの
その後の状況



町議会HP
QRコード▼



掲載している質問・回答は要約されています。全文は町議会ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。

審査

《12月定例会》

採決結果を紹介

番号等	案件内容	本会議の採決結果
議案①	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更に関し議決を求めることについて	可決 (全員賛成)
議案②	消防施設整備基金条例〔消防施設の整備に必要な経費に充てるため、石油貯蔵施設立地対策等交付金に係る消防施設整備基金を設置するもの〕	
議案③	国民健康保険条例の一部改正〔健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金を改正するもの〕	
議案④	かるまい交流駅（仮称）建築工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて〔契約内容及び金額を変更するもの〕	
議案⑤	一般会計補正予算（第6号） 〔5億9113万8千円減額し、総額71億6934万7千円に〕	
議案⑥	下水道事業特別会計補正予算（第1号） 〔105万1千円減額し、総額1億1617万4千円に〕	
議案⑦	水道事業会計補正予算（第1号） 〔収益的収入：53万4千円を減額し、総額3億4778万6千円に〕 〔 “ 支出：71万2千円を減額し、総額3億4547万6千円に〕 〔資本的収入：4万8千円を増額し、総額1億27万9千円に〕 〔 “ 支出：8万1千円を増額し、総額3億1097万円に〕	
請願陳情⑫	コロナ禍による米価下落に対し政府による緊急対策を求める請願	採択 (全員賛成)
発議案①	コロナ禍による米価下落に対し緊急対策を求める意見書	可決 (全員賛成)
	総務教育民生常任委員会の閉会中の継続審査	
	人口減少・少子化対策調査特別委員会の閉会中の継続調査	
	委員会の閉会中の継続調査	

請願・陳情

【請願陳情第12号】

＊件名：コロナ禍による米価下落に対し政府による緊急対策を求める請願

＊要旨：コロナ禍により危惧される米価下落に歯止めをかけ米需給環境を改善し、生産者の経営と地域経済を守るための対策を強く要望する。

＊請願者：二戸農民組合
組合長 田口 一男

＊紹介議員：山本幸男、江刺家静子

意見書を提出

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣

11月26日 第24回臨時会

一般職・特別職・会計年度任用職員の給与等や、議会の議員の報酬等を改正する議案4件が提案されました。一般職の職員の期末手当の改正について本会議では、職員の人数が少ないことを監査で指摘されており、コロナ禍の中ワクチン接種業務等を一生懸命頑張っている職員について引き下げすべきではないという討論もありましたが、提案された議案4件すべてを可決しました。



医療廃棄物処理費用負担に係る岩手県との協議

問 法的根拠は見い出せたか

町長 今後は弁護士を代理人として進める



交流駅の建設工事は5か月から7か月の遅れとなります(写真は令和3年3月実施の現地視察)

【問】 10月19日に法
律事務所と打ち
合わせを行ってから1
か月半経過するが、そ
の後の法的根拠につい
ての経過状況を伺う。

【町長】 盛岡市の北奥
法律事務所との打ち合
わせの結果、今後は弁
護士を代理人として県
医療局と協議をするこ
とが望ましいと考え、
法律事務所と契約を締
結。法的通知文書の作
成及び協議の代行を依
頼し、12月中旬に県医
療局へ通知文書が到達す
る予定。

【問】 県議会での議
論の内容につい
て、どのような情報を
得ているか。

【町長】 県議会でのこ
の件に関する質問がな
されたかどうかを含め、
情報は得ていない。

【問】 町長は岩手県
に負担してもら
うと言っているが、町
民の不安解消のための
説明の場を設ける考え
はないか。

【町長】 県との協議は
弁護士を代理人として
進めるため、その経過
を注視し説明したい。

山本町政5期20年の総括と令和4年度の予算編成方針

【問】 最終年度であ
る令和4年度の
予算編成をどのように
考えているか

【町長】 重要施策の交流駅の財源確保を
考えているか

【問】 令和4年度は
町長5期目、20
年の最終年度を迎え
る。町長はこれまでの
20年間をどのように総
括しているのか。

【町長】 平成15年2月
に町長に就任以来、今
日まで一貫して町民誰
もが健康で心豊かに安
心して暮らせる、安全
で快適な町の創造に向
け、農林畜産業の活性
化推進や保健医療福祉
と少子化対策の推進、
資源を活かした事業の
推進や雇用拡大等、行
政全般にわたり積極
的、着実に政策を実行
してきた。

【問】 雇用状況の改
善や再生可能エネル
ギー事業の推進等によ
り、町税収入は増加傾
向にある。前例踏襲で
はなく、事務事業の適
正評価、検証に努め、
特に重要施策である交
流駅の財源を確保しつ
つ、総合調整により減
額できる経費等を十分
検証し、適正な執行に
向けた予算編成を考え
ている。



令和4年度には保育料完全無料化にも取り組むとされています



SDGsの取り組み

問 町のSDGsの取り組みは

町長 一人ひとりが自ら定めた
ゴールの実現への環境づくりが必要



SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標であり、17のゴールと169のターゲットで構成

【問】 SDGsにつ
いて、軽米町で
はどのような取り組み
を考えているか。

【町長】 行政のみで描
いたゴールを示すこと
に重点を置かず、それ
ぞれ一人ひとりが自分
事として自らが定めた
ゴールの実現に向けて
取り組む環境づくりが
必要と考えている。

【問】 まちの姿を達成するた
めの政策7つの中に、
対応するSDGsの目
標として17のゴールの
絵が載っていた。軽米
町に合った絵柄と分か
りやすい説明も必要と
思うがいかがか。

【町長】 広報かるまい
で、SDGsとは何か
身近な事例を交えなが
ら紹介するなど、SD
Gsへの理解を深める
取り組みを進めたい。

軽米で育てる未来の農業

【問】 東京の企業と
軽米町が連携
し、小軽米の遊休ビ
ニールハウス220平
方メートルで実証実験
しているとのことだ
が、具体的内容と現段
階の取り組み状況、今
後の見通しは。

【町長】 バイオマス資
源等の再生可能エネ
ルギーの活用を目指
し、(株)モビマスが遊休
ビニールハウス1棟約
220平方メートルを
借用し、IoTによる
次世代型農業経営の実
証試験を実施。10月22
日には次世代型農業に
関する包括連携協定を
締結。現在は縦型水耕
栽培施設により、ス
ティックブロッコリー

【問】 今後の見通しは

【町長】 商業ベースの生産施設を整備
とレタスを栽培実証し
ている。今後は別な作
物の栽培実証と冬期間
の栽培試験を行い、そ
の後は現地法人を設立
し、商業ベースの施設
整備と生産を進める予
定。周年型の農業経営
とするため、冬期間の
暖房は将来的には炭化
した鶏糞を燃料として
温水を施設内に循環さ
せる計画。商業ベース
の生産施設が早期に完
成し、本町の新たな農
業のモデルとなるよう
に支援等をしたい。





役場周辺の巨木林の維持管理と環境整備

問 専任職員による管理が必要では

町長 業務委託等で計画的な管理に努めたい

えさしかしずこ
江刺家静子

問 電波障害はないのか。

【町長】 農村環境改善センターの建設時に受信ケーブルを引き込む等の対策がとられたが、現在は利用の形跡がなく、光ファイバーを使用した情報通信基盤整備事業により解消されていると考えている。

問 役場周辺のケヤキは樹齢300年以上になり、手入れが必要。病害はないか、樹木医による定期的な診断や治療、落葉の管理を行う必要があるのでは。

【町長】 専任職員による日常的な管理は困難と考えており、業務委託等により手入れが必要な状況と認識している。落ち葉の回収も含め、計画的な管理に努めたい。

主食用米生産者への支援

問 深刻な米価暴落に対し、農業を基幹産業としている軽米町として農家へ支援金給付等の対策を。

町長

主食用米生産者へ支援事業を創設

【町長】 主食用米生産緊急対策支援事業を創設。令和3年度に主食用米を50アール以上作付し、販売実績のある法人及び個人の農業者に対し、主食用米の作付面積から自家消費分10アールを減じた作付面積に、10アールあたり5千円を助成する。



主食用米生産者のみならず、コロナ感染症の影響を受けた農家への幅広い支援が必要となります

問

支援金給付等の対策を

問 総務省では、地方公共団体が生活者や事業者を支援するために行う原油価格高騰対策に対し特別交付税を交付し、岩手県では、生活困窮者へ光熱費補助実施の報道があった。町ではすべて

【町長】 岩手県では補助基準額1世帯あたり5千円のうち2分の1以内の助成をすること

福祉灯油制度の創設

問

国・県の制度に上積みし助成を

町長

5千円を上積みした商品券を給付

問 地方公共団体が生活者や事業者を支援するために行う原油価格高騰対策に対し特別交付税を交付し、岩手県では、生活困窮者へ光熱費補助実施の報道があった。町ではすべて

【町長】 岩手県では補助基準額1世帯あたり5千円のうち2分の1以内の助成をすること

ての生活困窮者と社会福祉施設へ、国・県で決めた補助制度に上積みをした対応を求めます。



町民バス運行

問 交流駅を拠点としたバス運行を

町長 交流駅オープン後のバス運行を検討

問 軽米病院に通院している方から、診察に時間がかかり薬局で薬を受け取れない、別の日に薬だけ受け取りに来なければならぬときがあると聞く。バスの時刻を午後2時頃になるように検討してはどうか。

【町長】 現在の時刻表は、平成26年にまちなか線を導入したタイミングで設定したものの、利用者の方々の声を聞き、より利用しやすい時刻設定となるよう改善に努めたい。

問 町民バスは道幅の狭いところも運行する。雪が降るとさらに狭くなり、すれ違ふことが困難と聞く。雪が降ったときはいち早く除雪し、凍っている場合は塩カンを撒いて安全にしてほしいと思うがいかがか。

【町長】 町民バスは道幅の狭いところも運行する。雪が降るとさらに狭くなり、すれ違ふことが困難と聞く。雪が降ったときはいち早く除雪し、凍っている場合は塩カンを撒いて安全にしてほしいと思うがいかがか。

問 冬期間のバス運行は四輪駆動車が望ましいと考えるがいかがか。

【町長】 次回の更新の際に四輪駆動車の導入を進めたい。

町長 積雪によりバス運行への影響を抑えることができるよう、町の除雪計画に基づき計画的に除雪を行っている。今後も安全なバス運行のため、迅速な対応に努めたい。



車を持たずバスを利用する方々にとって町民バスは必要不可欠なもの。今後のさらなる利便性の向上が求められます

問

町内にはバス停があるところとないうところがある。安全にバスに乗るため、バス停はあったほうが良いと思うがいかがか。また、物産館とコメリ前のバス停の時刻表の文字が小さくて見づらいと聞く。バス停のプレートに詳しいの大きな字にしてほしいと思うがいかがか。

【町長】 まちなか線の運行開始等により、新たに設置した停留所について一部標識が設置されていないと認識している。老朽化した標識の更新と併せ、来年

問 バスターミナルを拠点に、1日朝・昼・午後の3回程度、まちなか専用のバス運行をしては。

【町長】 路線バスの変更等については様々な手続き等が必要なことから、令和4年度にそれらを調整し、交流駅オープン時にはバスターミナルとしての運用ができるように検討している。



高齢者にも見やすく、一目で分かる時刻表の設置が必要です



農業施策

問 たばこ農家の廃作減作実情は

町長 令和4年度は30戸1837アールの減少

【町長】 現在我が町にたばこホップが契約栽培で安定した営農作物であり、その一角の葉たばこが廃作減作になると、地域経済に多大な影響を及ぼす。県・農協等と協議し、しっかりと廃作農家と向き合い、現在までの支援策の協議結果を伺う。

【町長】 二戸管内では、市町村や農林振興センター、農協等の各種団体等を交えた二戸地域葉たばこ緊急対策会議を組織。廃作農家の相談等を受け、情報共有し対策にあたり、新たな園芸品目の推進や経営及び生産に対する支援を行うこととしている。また、農業委員会では、廃作農業者の意向に基づいた農地対策の相談や、農地集約等も併せて支援していくこととしている。

【町長】 軽米町の葉たばこ農家は、2021年度は109戸で面積は8919aと認識しているが、廃作減作実情を伺う。



年々進行している農家の減少、担い手不足は深刻な問題です



ソーラーシェアリングとは
農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取り組み。作物の販売収入に加え、売電による継続的な収入や発電電力の自家利用等による農業経営のさらなる改善が期待できる（農林水産省HP参照）

【町長】 遊休農地等を使い太陽光発電をし、その下で作物を作ることで全国的に広まっている。あまり光を必要としない作物もあるため、今後ソーラーシェアリング事業を進めるか検討したい。

【町長】 今後、事業を進めるか検討したい

一般質問



商店街の活性化

問 500 円の商品券があってもいいのでは

町長 関係機関等の意見を参考に今後も検討



さるなしあんぱんは毎週金曜日のお昼頃に入荷されます

【町長】 コロナ対策の交付金を活用したプレミアム付き商品券が販売されているが、500円券もあってもいいのでは。

【町長】 商工会及び取扱店の換金等の事務の煩雑化を軽減するため、また、取扱店等の要望により1千円券での発行としている。消費者の目線で考えると、500円券は使い勝手が良く魅力あるものと認識している。今後も関係機関等の意見を参考に、引き続き検討していきたい。

交流駅の取り組みのその後の状況



ボーリング工事で出た良質土はトン袋に入れ再利用、コンクリート殻は処理されました

【町長】 トン袋のその後は埋め戻し材等ですべてを使用

【町長】 法律事務所に委託したのは、岩手県に費用負担を求める文書の作成のためか、争うためか、どう理解すればよいか。

【町長】 専門的な知識を持った方に交渉をお願いし、法律的な根拠を示すもの。医療局ではどのように判断し、どのような対応をしていくのかを踏まえ、対応を検討したい。

【町長】 議会の現地視察の際、掘り起こした土等を入れたトン袋があったが、その後どうなったのか。

【産業振興課総括課長】 使えるものであるため、埋め戻し材等に使用。すべてを使用する予定で工事を進めている。

産業建設常任委員会の活動報告



県北農業研究所で
最先端の農業学ぶ

環境制御技術を活用し きゅうりの栽培実証

県北農業研究所では、環境制御技術及びスマート農業の導入促進を行っており、産業建設常任委員会では環境制御ハウスの現地視察を実施。ハウスの中ではきゅうりの栽培実証が行われており、外は雪が降る寒さでしたがハウスの中は温かく、栽培実証中のきゅうりは花を咲かせ順調に成長していました。



お幸せに ④

結婚しました！

こばやし たつや 小川 竜也さん (29)、睦実さん (27) 〔観音林南〕
〔出身：八戸市〕

趣味も好きなものも違う二人だけど
お互いを尊重し合い、明るい家庭にしていきたいです



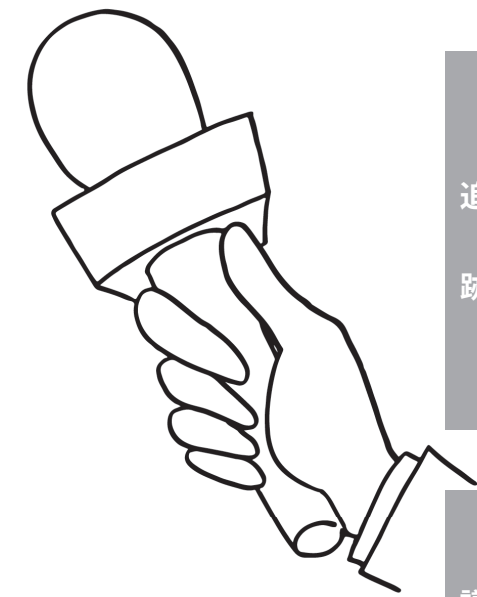
Q 二人の出会い？
A 同じ職場でお互い話す機会があり、仲良くなつたのがきっかけです。
Q 睦実さんから見た軽米は？
A 春はチューリップ、夏はキャンプ、秋は紅葉、冬はイルミネーションと、春夏秋冬を楽しめる町だと思います。あと、星がとてもきれいです。私は星を見るのが好きなので、初めて軽米の星を見たときは感動しました。

議会報編集常任委員が独自取材!!

軽高2年生に聞く #町にこれを求む！



町への提言・思いなどを
お近くの町議会議員までお寄せください



遊ぶ場所がほしい！ 11名
(公園、FreeWi-Fi 等がある施設等)

トコトコかるまい広場が開いている時間が少ない

ジムがほしい

図書館に入りにくいので入りやすくして

学生が立ち寄れる場所がほしい 7名
(カフェ、コンビニ、飲食店等)

交流駅の建設を頑張ってほしい

お年寄りから若い人まで、みんなが住みやすい町にして！

全年齢が安全で楽しく、軽米町にずっと住みたいと思えるような施設や環境を整えてほしい！

農業経営者への支援を手厚くしてほしい

米農家への収入の援助が必要

農業機械整備事業を行ってほしい

教育支援の継続を

施設の改修工事を

川沿いの整備を

街灯を増やして！修理して！ 5名

町にもっと人を呼び込んで

子どもたちの意見をもっと活かしてもいいのでは

町の景観をもっとよくしてほしい



かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ②⑥

がまの かずなり
蒲野 和成 さん

久慈市出身 30代(向川原)

妻・長男・次男の4人家族



なつみ
妻・奈津美 さん

とあ
長男・仁彩 くん

うた
次男・初汰 くん



結婚を機に軽米へ

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？
結婚を機に軽米町に来ました。近場でしたがなかなか軽米に足を運ぶことは少なく、台風10号時、久慈溪流の道路が寸断され、軽米町を通って遠回りをして会社に行っていたことを記憶しています。

様々なイベント

☞ 町に来る前と来てからの印象は？
軽米に来る前はフォリストパークがあることが一番の印象にありました。来てからは、様々なイベントがあり、特に冬のイルミネーションがとてもきれいで印象的でした。

イベント再開を楽しみに

☞ 今、身の回りで関心があることは何ですか？
近所の方が気さくに話しかけてくださり、町内での草刈りなどに参加しています。コロナ禍前のように、イベントやバーベキューなど、また交流を深められる日を楽しみにしています。

砂場と遊具の設置を

☞ 町づくりへの思いを一言
交通の利便性が良く出張時には助かっています。また、子育てのサポートが手厚く、医療費の面も助成があり子育てしやすい町だと思います。しかし、近場に公園等ありますが子どもたちが遊ぶ遊具がありません。遊具や砂場などがあれば、交流の場が増えて良いと思います。また、子どもの通学路の安全性を見直していただきたいです。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい
議会だより

発行日 令和4年1月26日発行 (No. 228)
発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄
編集 議会報編集常任委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長	田村 せつ
副委員長	中村 正志
委員	上山 家静
委員	江刺 幸男
委員	山本 隆
委員	茶屋

軽米町議会だよりはこちら

